

## ◆◆プログラム◆◆

7月20日(土)

10:00~11:30

【研修セミナー】

医療機関向け虐待研修 BEAMS 概説と Stage 2 模擬講義

溝口 史剛 群馬県済生会前橋病院 小児科

11:30~12:45

昼休み (理事会)

12:45~14:30

【一般演題 A】

《座長》 長嶋 達也 兵庫県立こども病院 脳神経外科

小橋 孝介 鴨川市立国保病院 小児科

1. **Abusive Head Trauma の受傷機転を考える ～院内の転落事例と比較して～**

○菊地 祐子<sup>1)</sup>、宮崎 隆<sup>2)</sup>

東京都立小児総合医療センター 1) 心理福祉科、2) 看護部

2. **小児軽症頭部外傷における頭蓋骨骨折の検討**

**Analysis of skull fracture in mild pediatric head trauma**

○山中 巧<sup>1)</sup>、原田 敦子<sup>1)</sup>、宇都宮 英綱<sup>2)</sup>、山崎 麻美<sup>1)</sup>

1) 社会医療法人愛仁会高槻病院 小児脳神経外科、

2) 国際医療福祉大学大学院 放射線・情報科学分野

3. **慢性硬膜下血腫に着目した虐待例の検討**

○宮坂 実木子、野坂 俊介

国立成育医療研究センター 放射線診療部

4. **灰白質白質せん断を認めた、新生児期発症の AHT の 2 例**

○井田 久仁子<sup>1,2)</sup>、澤浦 法子<sup>2)</sup>、水野 隆久<sup>3)</sup>、溝口 史剛<sup>1)</sup>

1) 群馬県済生会前橋病院、2) 群馬大学小児科、3) 群馬中央総合病院

5. **死後 CT で骨幹端骨折の描出が可能であった一例**

○小熊 栄二<sup>1,2)</sup>、鍵本 聖一<sup>1,3)</sup>、窪田 満<sup>3)</sup>、萩原 真一郎<sup>3)</sup>、平野 朋美<sup>1,4)</sup>、西本 博<sup>1,5)</sup>

埼玉県立小児医療センター 1) 小児虐待対応チーム、2) 放射線科、3) 総合診療科、

4) ソーシャルワーカー、5) 副病院長

6. “新旧混在する打撲傷”の客観的な評価法  
○美作 宗太郎, 大島 徹, 大谷 真紀  
秋田大学大学院 医学系研究科 法医科学講座

7. 陳旧打撲傷を可視化する試み  
○美作 宗太郎, 大島 徹, 大谷 真紀  
秋田大学大学院 医学系研究科 法医科学講座

14:30~15:45

【一般演題 B】

《座長》 佐藤 喜宣 杏林大学法医学教室  
白石 裕子 日本看護協会

8. 旭中央病院 CPT における院内連携、院外連携について～MDT を目指して～  
○仙田 昌義  
総合病院国保旭中央病院 小児科
9. 「群馬県児童虐待防止医療アドバイザー制度」発足後経過報告  
○溝口 史剛  
群馬県済生会前橋病院 小児科
10. 虐待被害事例に対する司法面接ならびに医学的診察の出張型対応の取り組み  
○溝口 史剛、高岡 昂太、櫻井 具子、山田 不二子  
認定 NPO 法人子ども虐待ネグレクト防止ネットワーク ChildFirst Japan
11. 児童虐待事件裁判員裁判における医学証拠の役割  
○南部 さおり、那須 亜矢子、室伏 美希、藤原 敏  
横浜市立大学 医学部 法医学教室
12. 司法小児科医 (Forensic Pediatrician) の役割  
○山田 不二子  
認定 NPO 法人子ども虐待ネグレクト防止ネットワーク

16:00~18:30

**【パネルディスカッション 1】：『AHT（虐待による乳幼児頭部外傷）の最新知見』**

《司会》 山崎 麻美 社会医療法人愛仁会 高槻病院 脳神経外科

山田 不二子 医療法人社団三彦会 山田内科胃腸科クリニック

パネリスト1：脳外科から 埜中正博 大阪医療センター 脳神経外科  
パネリスト2：放射線科から 相田 典子 神奈川県立こども医療センター 放射線科  
パネリスト3：眼科から 中山 百合 国立成育医療研究センター 眼科  
パネリスト4：救急・ICU から 問田 千晶 国立成育医療研究センター 集中治療科  
パネリスト5：工学から 宮崎 祐介 東京工業大学大学院 情報理工学研究科

指定発言1： 西本 博 埼玉県立小児医療センター 脳神経外科  
指定発言2： 藤原 武男 国立成育医療研究センター 成育社会医学研究部  
指定発言3： 後藤 啓二 後藤コンプライアンス法律事務所

19:00~21:30

**【懇親会】**

会 場：Chawder's Café （会費 4,000 円）

住 所：〒105-6202 東京都港区愛宕 2-5-1

愛宕グリーンヒルズ MORI タワー2F

電 話：(03)3436-6020

\*地図はP.2 参照

7月21日(日)

9:00~10:45

【一般演題 C】

《座長》 佐藤 拓代 大阪府立母子保健総合医療センター  
仙田 昌義 総合病院国保旭中央病院 小児科

13. 養護施設入所児の口腔および生活に関する考察  
○岩原 香織<sup>1)</sup>、川越 元久<sup>2)</sup>、都築 民幸<sup>1)</sup>、井田 満夫<sup>2)</sup>  
1) 日本歯科大学 生命歯学部 歯科法医学センター、2) 公益社団法人川崎市歯科医師会
14. 当院周産期母子医療センターで要保護気がかり母子と判断された事例の予後調査  
○五十嵐 登<sup>1)</sup>、松井 弘美<sup>2)</sup>、柿沢 有希子<sup>3)</sup>  
富山県立中央病院 1) 小児科、2) 看護部、3) 周産期母子医療センタースタッフ
15. 「一人でもチーム!?’からの脱却  
○每原 敏郎<sup>1)</sup>、井上 美智子<sup>2)</sup>  
兵庫県立塚口病院 1) 小児科、2) MSW
16. 当院における育児支援チームの現状と課題  
○福田 育美<sup>1)</sup>、木下 あゆみ<sup>2)</sup>、伊藤 道徳<sup>2)</sup>  
国立病院機構 四国こどもとおとなの医療センター 育児支援対策室 1) MSW、2) 小児科
17. 京都における児童虐待未然防止を目的とした医療機関と保健センターの連携  
○足立 晋介  
京都第一赤十字病院 小児科
18. 妊娠期からの虐待予防に向けた取り組み  
○宮田 郁<sup>4)</sup>、西村 美津子<sup>4)</sup>、久下 亜樹子<sup>5)</sup>、木下 真也<sup>2)</sup>、加藤 壮介<sup>1)</sup>、川野 涼<sup>2)</sup>、  
荘園 へキ子<sup>1)</sup>、新田 雅彦<sup>3)</sup>、亀谷 英輝<sup>1)</sup>  
大阪医科大学 1) 産婦人科教室、2) 精神神経学教室、3) 救急医療部、4) 看護部、  
5) 広域医療連携センター
19. 乳幼児虐待予防のための、医療・保健・福祉の多職種連携の問題点について  
—周産期の母親のメンタルサポートの観点から—  
○立花 良之<sup>1)</sup>、竹原 健二<sup>2)</sup>、小泉 典章<sup>5)</sup>、久保 隆彦<sup>3)</sup>、森 臨太郎<sup>2)</sup>、掛江 直子<sup>2)</sup>、  
小泉 智恵<sup>4)</sup>、日下 華奈子<sup>1)</sup>、辻井 弘美<sup>1)</sup>、尾形 啓美<sup>6)</sup>、奥山 眞紀子<sup>1)</sup>  
1) 国立成育医療研究センター病院 こころの診療部、2) 同研究所政策科学研究部、  
3) 同周産期センター産科、4) 同研究所、5) 長野県精神保健福祉センター、  
6) 世田谷区 世田谷総合支所 健康づくり課

10:45～11:45

【教育講演】

『虐待医療に必要な法律知識』

磯谷 文明 弁護士 くれたけ法律事務所

《座長》 奥山 眞紀子 国立成育医療研究センター こころの診療部

11:45～13:00

昼休み

13:00～13:30

評議員会 兼 総会

13:30～16:00

【パネルディスカッション2】：

『非器質性発育障害（NOFTT）への対応 ～見逃しの防止と地域での支援～』

《司会》 溝口 史剛 群馬県済生会前橋病院 小児科

小穴 慎二 国立成育医療研究センター

パネリスト1（基調講演）： 一次医療機関から

井上 登生 井上小児科医院

パネリスト2：地域保健から 中板 育美 日本看護協会

パネリスト3：二次医療機関から 本山 景一 茨城県立こども病院 小児総合診療科

パネリスト4：病院 MSW から 稗田 潤 東京都立墨東病院

パネリスト5：児童相談所から 田崎 みどり 横浜市西部児童相談所

パネリスト6：親のリスク要因と死亡に至るリスク要因

笠原 麻里 駒木野病院児童精神科

16:00～18:00

性虐待被害児診察研究会（CCAP との共催）